

# 平成31年度「教職員視察ウィーク」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は美術館事業へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。ごぞいます。

さて、今年度も「教職員視察ウィーク」を下記のとおり開催いたします。**市内学校園職員**を対象に、各展覧会ごとに定める一定期間を、**観覧無料の視察期間**とするものです。教育に携わるみなさまに、美術館や展覧会に対する理解を深める機会とするとともに、普段の鑑賞学習や、校外学習での美術館活用の参考にしていただき、モニターアンケートにご協力いただくことで、美術館としても学校現場の声をお寄せいただきたく、積極的なご利用をお待ちしています。

なお、学校園団体引率に伴う**下見・引率**の場合は、時期を問わず**観覧料を免除する制度**もごぞいます（所定の**減免申請書**をご提出ください）。そのほか利用に伴うご相談、ご要望等も随時受け付けておりますので、ご連絡いただけましたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

## 【視察ウィーク対象展および期間】 ※それぞれの会期直前にも文書にてご案内いたします

① 4月21日（日）～28日（日）  
「インポッシブル・アーキテクチャー  
もうひとつの建築史」 &  
「コレクション展Ⅰ SUMU - すむ - あなたのおうちはどこですか」  
※コレクション展Ⅰは4/23(火)より開催



☞20世紀初頭からの100年にわたる「建たなかった」建築を、約190点の図面・模型・映像などを通じて紹介します。

マーク・フォスター・ゲージ《ハルシンキ・グッゲンハイム美術館》CG  
2014年 Image courtesy of Mark Foster Gage Architects

② 8月11日（日）～18日（日）  
「きたれ、バウハウス  
ーアート／デザインの原点ー」 &  
「コレクション展Ⅱ 抽象の快楽、具象の誘惑。」



☞1919年に開校したドイツの造形芸術学校「バウハウス」設立100周年を記念し、クレーヤカンディンスキーら魅力的な教授陣による当時の教えと学びの実践に迫ります。

ヨースト・シュミット 1923年のバウハウス展ポスター  
1923年 ミサワホーム株式会社所蔵

③ 11月3日（日）～10日（日）  
「アンドリュー・ワイエス展  
オルソン・ハウスの物語」 &  
「コレクション展Ⅱ 抽象の快楽、具象の誘惑。」

☞《クリスティーナの世界》で知られるアメリカの国民的画家アンドリュー・ワイエス（1917-2009）。夏の家があるメイン州を訪れては、クリスティーナとアルヴァアの住む「オルソン・ハウス」での暮らしと、そこに広がる風景を克明に描き続けました。本展では、ワイエスの創作の軌跡が辿れる作品の数々をご紹介します。

④ 2月9日（日）～16日（日）  
「草間彌生  
+アメリカに渡ったアーティストたち」  
&「コレクション展Ⅲ かわいい！かわいい？」



☞日本を代表するアーティスト、草間彌生（1929-）。当館所蔵の草間作品全85点を一挙公開し、クサマ・ワールドの多彩な魅力を紹介。併せて、草間と同じくアメリカに渡って転機を迎えた作家たちを特集展示します。

草間彌生 自己消滅 1982年  
撮影：安齋重男

